

2 学年通信

H29年4月12日

第1号

文責 上岡美恵子



さあ2年生！よき先輩に！！

いよいよ新学期のスタートです。今日からは、先輩！と呼ばれる立場になります。去年とは違ってくるのです。見られています。頼られることになります。そして、期待されているのです。3年生の先輩を支え、1年生にとって頼れる存在になってほしいと思っています。そのためには、勉強、部活動、委員会活動等、どの場面だけでもかまいません。自分の思いきり活躍できる場面を見つけ頑張してほしいと思います。

保護者の皆様へ

平成29年度が始まりました。中堅学年になった今年は、学年にとどまらず、学校全体の中で活躍する姿がたくさん見られることを願っています。一方で心身共に成長していくのもこの時期です。今までに見られなかった「変化」も出てくると思われれます。今まで以上にご家庭との連絡を密にし、日々の指導に取り組んでいきたいと思っています。子どもたちのために手を取り合って頑張っていきましょう。1年間よろしくお祈いします。

学年担当です。1年間よろしくお祈いします。



2学年主任

上岡美恵子です。今年もよろしくお祈いします。

今年は、「10名が共に高めあう関係」を目指してほしいと思っています。私たちも全力でサポートしていきます。ご協力よろしくお祈いします。

担任

初めまして。2学年の担任を務めさせていただきます。辻 夢輝と申します。日々全力で生徒と一緒に成長していきたいと思っています。一年間どうぞよろしくお祈いします。

副主任

引地克博です。本校6年目になります。共にさまざまな活動に取り組めることを楽しみにしています。

1年間よろしくお祈いします。

※裏面に「2年・国語の教科書」の最初に出てくる「メッセージをどう聞くか」を載せました。

「メッセージ」とは、相手から伝えられるものを受け身で受け取るだけのものではありません。言葉になっていないものも含めて、世の中にはあらゆるメッセージがあり、一人一人がそれにどう気づき、どう捉えていくのかが問われています。その捉え方の積み重ねによって、「その人の在り方、生き方が決まってくる」と言っても過言ではありません。この時期にじっくり考えてみるのもいいものです。ご家庭で、ぜひ話題にしてみてください。

メッセージをどう聞くか

加賀美幸子

あるとき、埼玉県大宮市（現在のさいたま市）近郊のある農家を訪ねた。

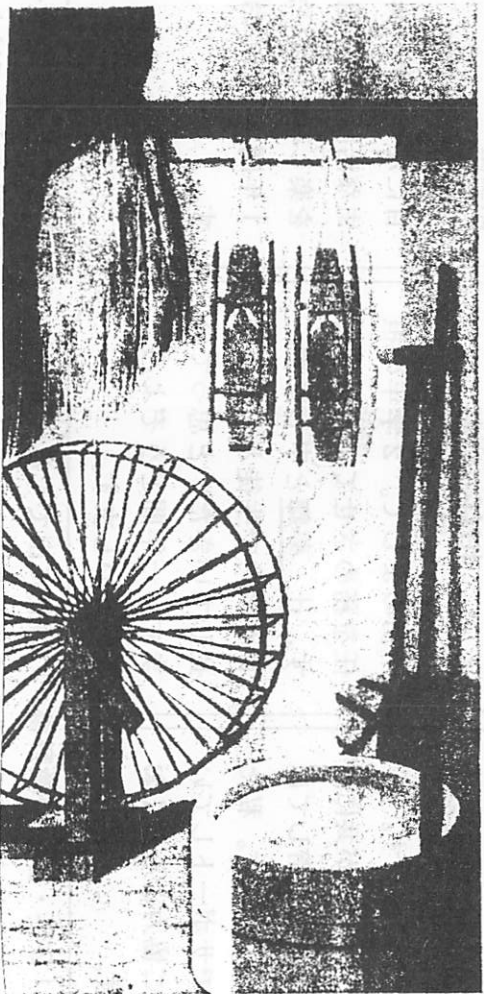
朽ちかけた茅ぶきの屋根、崩れかけた土壁、かしいだ柱。にもかかわらず少しもみすぼらしくなく堂々とした風格を備えているのは、風雪にさらされて、耐えぬいてきた家の歴史がそのままその形に現れているからであろうか。

その家のあるじは、新しく建て替えたくないと言う。新しいことだけがよいことではないのだから。家だけではない。辺りを見ると、今は使っていないが、かつて大切な役目を果たしていた古い農機具などが、しまい込まれず、邪魔にならない所で、そのまま、息をしているのだ。納屋の天井にはおじいさんやお父さんが使った馬の鞍や麦打ち機が当時の姿のまま下げられ、蔵に入るとすぐ石臼、田下駄、糸紡ぎ機、木の鋤等々、みんな見える所に置かれている。

「資料館などに、隔離保存はしたくない。家の奥にもしまい込みたくない。使われていた暮らしの中に、そのままそっと置いておきたい。畑やたんぼを守ってきた父母、祖父母、その前の代の人々につながる物たちなのだから。」

農作業も変わって、ほとんどの家は、古い農機具などは処分してしまったけれど、先代、先々代やその前の代が、土地と作物に一生をささげたそのあかしを、だいじにしておいてやりたい。そしてときどき見ながら、自分もその気持ちをつないで、畑やたんぼを守っていきたい。一度壊したら元には戻らないし、物の形がなければ、自然に忘れてしまう。それでは何だか先祖がかわいそうだ。」とあるじは言う。

処分された多くの物、多くのあかし。たんぼも少なくなつた。自然もだんだん消えていく。何でも一度なくしてしまうと、元には決して戻らない。……胸がちくちく痛くなつた。私自身も何と多くの物をなくし、何と多くの事々を忘れ去ってきたことか……。



古い家や昔の機具からのメッセージをだいに捉えて、静かに堂々と暮らす農家のあるじの言葉が忘れられない。更に、そこからは生きるうえでの大きなメッセージが聞こえてきた。

私たちの暮らしにはメッセージがあふれている。テレビや書物、人の言葉、自然の様子、出来事、その他、世の中に存在する全ての事や物には、メッセージがあるはずだ。耳を澄まし、目を凝らして、人や物事の言葉や様子をだいに聞き取り読み取り、自らを見つめながら、慌てずゆっくり歩いていきたい。

世の中のさまざまなメッセージの中から何を感じ、何を捉えるか。メッセージの捉え方はそのままその人間の在り方、生き方を表すのではないだろうか。